

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。

- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。

その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

■絵表示の意味



記号は

してはいけないこと(禁止)を表しています。



記号は

しなければならないこと(指示)を表しています。



記号は

気をつける必要があることを表しています。

⚠ 危険**本機、電池パック、充電器の取り扱いについて (共通)**

本機に使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ソフトバンクが指定したものを使用する。(☞ P.vii, P.1-4) 指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類(金属製のストラップなど)で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、投げつけたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。(☞ P.1-4)
- 電池パックを本機に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火や暖房器具のそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、本機専用です。他の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

卓上ホルダーの取り扱いについて**付属の卓上ホルダーを他の機器に使用しない**

付属の卓上ホルダーは、本機専用です。本機以外の機器に使用すると、発熱・発火・感電・故障の原因となります。

⚠ 警告**本機、電池パック、充電器の取り扱いについて (共通)****内部に物や水などを入れない**

本機や充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

水などの入った容器を近くに置かない

本機や充電器、卓上ホルダーの近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや本機、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、本機や充電器、卓上ホルダーを発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- 本機や充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
- 本機や充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて (共通)

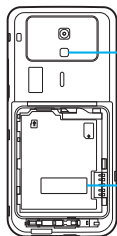
モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項:

当製品に使用のモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整等の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。修理は、指定のサービスステーションに限定されています。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001



モバイルライト

CAUTION-CLASS 1M
LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS

■ モバイルライト光源LED特性

- 連続発光
- 波長
白:400-700nm
- 最大出力
白:320μW(内部1.2mW)

異常が起きたときや、内部に水や異物などが入ったときは

万一、異常な音や臭い、発煙に気づいたときや、内部に水や異物などが入ったときは、本機の電源を切って電池パックを取り外し、ACアダプタはプラグを家庭用ACコンセントから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応端末をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。)

衝撃を与えない

●家庭用ACコンセントに接続したACアダプタに強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。

●本機や充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。

万一、本機や充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、けが・火災・感電の原因となります。

本機の取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、本機を絶対にご使用にならないでください(テレビを含む)。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。(2004年11月1日改正施行)
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、イヤホンマイクなどを絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。交通事故の原因となります。

イヤホンマイクやストラップを持って本機を振り回したり、投げない

本人や他人にあたり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、本機の電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する
心臓の弱い方は、設定にご注意ください。



屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、す
ぐに電源を切って安全な場所へ移動する
落雷・感電の原因となります。



強い水流を当てたり、水中に長時間沈め
たりしない



本機は耐水圧設計ではありません。規定
(IPX5・IPX7相当)以上の強い水流を当てたり、
水中に長時間沈めたりしないでください。

ぬれたときは乾いたきれいな布でふいてく
ださい。そのまま使用すると、発熱・発火・感
電・故障の原因となります。

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない
指定された電源電圧以外の電圧で使用しな
いでください。



火災・感電の原因となります。

- ACアダプタ: AC100V-240V
 - 海外での充電に起因するトラブルにつ
いては、当社では責任を負いかねますの
で、あらかじめご了承ください。

市販の「変圧器」は使用しない
海外旅行用として市販されている「変圧器」
などに接続すると、火災・感電・故障の原因
になることがあります。



充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでく
ださい。感電の原因となります。
- ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセ
ントから抜くときは、ひねらずにまっす
ぐ抜いてください。けがや故障の原因と
なります。
- タコ足配線はしないでください。発熱に
より火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ね
じったり、加工したりしないでください。
また、重い物を乗せたり、加熱したり、
引っぱったりすると、コードが破損し、火
災・感電の原因となります。



接続コネクターの端子をショートさせない
接続コネクターの端子を金属類でショッ
トさせないでください。充電器が発熱したり、
発火・感電の原因となります。



ACアダプタコードが傷ついたときは(芯
線の露出、断線など)



直ちに使用を中止し、新しいものをご購入
ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因とな
ります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めにACアダプタのプラグを
家庭用ACコンセントから抜いておいてく
ださい。
火災・感電・故障の原因となります。



充電器や卓上ホルダーは、小さなお子様
の手の届かない所で使用・保管する
感電・けがの原因となります。



卓上ホルダーは自動車内で使用しない
卓上ホルダーを自動車内で使用しないでく
ださい。過大な温度と振動により、火災・故
障の原因となることがあります。



電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が
完了しないときには、充電をやめてくださ
い。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするど
きは直ちに火気より遠ざけてくださ
い。
漏液した電解液に引火し、発火・破裂する
原因となります。



電池パックの使用時や充電中または保管時
に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形
など、今までと異なることに気がついたと
きは、本機から取り外し、使用しないでく
ださい。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発
熱・破裂・発火させる原因となります。



警告

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会【平成9年4月】）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本機の電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まない。
- 病棟内では本機の電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、本機の電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカー等にご確認ください。

注意

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける場所に置かないでください。露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間あたる場所(特に密閉した自動車内)や暖房器具の近くには置かないでください。キャビネットが変形・変色したり、火災・やけどの原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を本機に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

本機の取り扱いについて

本機の温度（発熱）について

本機を長時間利用すると、本機が熱くなる場合があります。

また、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない
本機のキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。

また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

イヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

**自動車内でご使用のとき**

本機を自動車内で使用しときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

**皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ医師の診断を受ける**

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。(使用材料: P.14-18)

**充電器の取り扱いについて****ACアダプタコードの取り扱いについて**

- プラグを抜くときは、コードを引っばらないでください。コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 家庭用ACコンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

**風通しの悪い場所では使用しない**

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

**長期間ご使用にならないときは**

安全のため、ACアダプタから本機を取り外し、必ずプラグを家庭用ACコンセントから抜いてください。

**お手入れのときは**

安全のため、ACアダプタは家庭用ACコンセントからプラグを抜いて行ってください。



通電中は卓上ホルダーに長時間触らない低温やけどの原因となります。

**電池パックの取り扱いについて**

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。発熱・破裂・発火の原因となることがあります。



電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。発熱・発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。



水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。



電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。



不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別回収している市町村では、その規則に従って処理してください。



電池パックは小さなお子様の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも小さなお子様が本機から取り外さないようにご注意ください。



● 電池パックの充電は、周囲温度 5℃～35℃の場所で行ってください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。



● 電池パックをお子様のご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。

また、使用中においても、取扱説明書のとおりを使用しているかどうかをご確認ください。

● 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。

● 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。

そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本体/メモリアカードに登録したデータ(アドレス帳・画像・サウンドなど)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
傍受(ほうじゅ)とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐車しないください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。
(電源も入れないでください。)
運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置し続けると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに關しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度:5℃~35℃、湿度:35%~85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。

- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 本機を閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイが破損する原因となります。
- **機能制限について**
本機を機種変更/解約したり、長期間使用しなかったときは、次の機能が利用できなくなります。
 - カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリ、テレビ
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
 - スポンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。
 - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないよう十分ご注意ください。
- イヤホン端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作を起こしたり、破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。

防水性能について

本機の防水性能

本機は、IPX5（JIS保護等級）相当、IPX7（JIS保護等級）相当の防水性能を有しています。（当社試験方法による）

- 本機は、端子キャップや電池カバーをきちんと閉じた状態で防水性能を保ちます。接触面に細かいゴミなどが挟まると、浸水の原因となりますのでご注意ください。
- 本機の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。
- すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

IPX5／IPX7について

- 「IPX5（JIS 保護等級）相当」とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
- 「IPX7（JIS 保護等級）相当」とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に本機を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、電話機内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

防水に関するご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥が付着しないようにしてください。
 - 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水／海水／プールの水／温泉、熱湯 など
- 手や本機がぬれているときに、端子キャップや電池カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 湯船やプールなどに浸けないでください。また、水中で使用しないでください。（開閉、ボタン操作を含む）
- 水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）をかけないでください。
- お風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、お風呂場で長時間利用しないでください。
- 熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。
- 極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 電池パック、卓上ホルダー、オプション品は、防水性能を有していません。
- マイク、レシーバー、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。

- 結露防止のため、寒い場所からお風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。

お手入れ時のご注意

■ 本機の洗いかた

やや弱めの水流 [6リットル/分以下、常温 (5℃~35℃) の水道水] で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

■ 水抜きのしかた

水にぬれたあとは、必ず水抜きを行ってください。

① 表面の水分を乾いた布などでふく

② 本機をしっかりと持ち、20回程度振る



- 水滴が飛ばなくなるまで、両面とも同じように振ります。
- 本機を落とさないように、しっかり握って行ってください。

③ すき間に入った水分をふく

- 乾いた布などに本機を軽く押し当ててふいてください。

④ 乾いた布などを下に敷き、30分程度常温で放置する

水滴が付着したまま使用すると

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどをぬらしてしまうことがあります。
- 外部機器端子部がショートするおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因になることがあります。

充電時のご注意

- 本機がぬれているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 外部機器端子のキャップを開いて充電したときには、充電後しっかりとキャップを閉じてください。外部機器端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダーでの充電をおすすめします。
- ぬれた手で卓上ホルダー・充電器に触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダー・充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ゴムパッキンについて

端子キャップや電池カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 端子キャップや電池カバーを閉めるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となることがあります。
- 端子キャップや電池カバーのすき間に、先のがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となることがあります。
- 防水性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無に関わらず、2年ごとに交換することをお勧めします。
- 電池カバーが破損したときは、電池カバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的のみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましては、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人格権などをはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

下記の1件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
 5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
 5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
 5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
 5,710,784 5,778,338

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA.

See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.

See <http://www.mpegla.com> for additional details.



本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。



Powered by JBlend™. Copyright 1997-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。



microSDHC™, microSD™, miniSD™はSD Card Associationの商標です。

NetFront®

本製品はインターネットブラウザおよびSMILプレーヤとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront SMIL Playerを搭載しています。Copyright© 1996-2008 ACCESS CO., LTD. ACCESS, NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

IrSimple™、IrSS™およびIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。
- その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: ソフトバンク お客様センター

ソフトバンク携帯電話から 157 (無料)
(一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」(P.14-39)を参照してください。)

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

2.4FH1

Microsoft、PowerPoint、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® is a registered trademark of HI Corporation
©2002-2008 HI Corporation. All Rights Reserved.

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
☞は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.

FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



**ADOBE
FLASH
ENABLED**

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™ テクノロジーを搭載しています。
Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2007
Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

picxel  ドキュメントビューアは、Picxel Technologiesにより実現しています。

Picxel, Picxel Powered, Picxel Viewer, Picxel File Viewer, Picxel Document Viewer, Picxel PDF ViewerまたはPicxelキューブロゴはPicxel Technologiesの商標または登録商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

BookSurfingは株式会社セルシス、株式会社ポイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

TVコール、S! アプリ、きせかえアレンジ、ムービー写メール、写メール、テルモジ、インプットメモリ、ちかチャット、マルチジョブ、S! メール、テコレメール、フィードバックメール、S! 情報チャンネル、S! タウン、S! ループ、PC サイトブラウザ、お天気アイコン、S! 速報ニュース、S! 電話帳バックアップ、S! 一斉トーク、S! ともだち状況、生活アプリ、S! おなじみ操作、S! ミュージックコネクト、安心速隔ロックはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種 [8245H] の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが 2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値となっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明 (技術基準適合証明) を受ける必要があります。この携帯電話機 [8245H] も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは●●W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもあります。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/e/e/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html>

※ 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

*ボディ (身体) SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率 (SAR) のことです。

**比吸収率 (SAR)：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会 (FCC) の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」[欧州における電波ばく露の影響に関する情報]をご参照ください。

***身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。
<http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html>

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」
 米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
 携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.308W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機 [8245H] では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
 比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
<http://www.phonefacts.net> (英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
 この携帯電話機 [8245H] は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2 W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は●●W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
 (http://www.who.int/emf) (英文のみ)

* 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:



DANGER

Great risk of death or serious injury from improper use



WARNING

Risk of death or serious injury from improper use



CAUTION

Risk of injury or damage to property from improper use



Prohibited Actions



Compulsory Actions



Attention Required

! DANGER

Handset, Battery & Charger

Use specified battery, Charger and Desktop Holder only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charging Terminals.

Keep metal objects away from Charging Terminals. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry battery.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:

- Heat or dispose of battery in fire
- Open/modify/disassemble battery
- Damage or solder battery
- Use a damaged or warped battery
- Use non-specified charger
- Force battery into handset
- Charge battery near fire or sources of heat; or expose it to extreme heat
- Use battery for other equipment

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

Desktop Holder

Do not use supplied Desktop Holder for other equipment.

Supplied Desktop Holder is designed exclusively for 8245H. Do not use for other devices; may cause overheating, fire, electric shock or malfunction.

! WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into the handset, Charger or Desktop Holder.

Do not insert metal or flammable objects into handset, Charger or Desktop Holder; may cause fire or electric shock. Keep out of children's reach.

Keep handset away from liquid-filled containers.

Keep the handset, Charger and Desktop Holder away from chemicals or liquids; fire or electric shock may result.

Do not place battery, handset, Charger or Desktop Holder in ovens, microwave ovens, etc.

Battery or other parts may leak, burst, overheat or ignite; may cause malfunction, accident or injury.

Do not disassemble or modify handset or related hardware.

- Do not open handset, Charger or Desktop Holder; may cause electric shock or injury. Contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Desktop Holder; fire or electric shock may result.

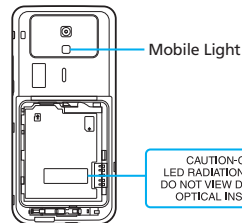
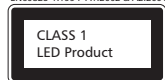
Do not use Mobile Light near people's faces.

Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001



■ Mobile Light LED Properties

- Emission Duration: Continuous
- Wavelength
White: 400 - 700 nm
- Maximum Emission Output
White: 320 μ W (1.2 mW inside handset)

If an abnormality occurs, or water/foreign matter is inside handset:

If handset emits an unusual sound, smoke or odor, or if water or foreign matter is inside it, discontinue use; may cause fire or electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug AC Charger; contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance.



Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk. Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion; turn handset off before using Osaifu-Keitai® at gas stations (cancel IC Card Lock beforehand).



Do not subject handset, Charger or Desktop Holder to strong shocks or impacts.

- Avoid strong shocks to AC Charger while it is plugged into the outlet; may cause malfunction or injury.
- Strong shocks or impacts to handset, Charger or Desktop Holder may cause malfunction or injury. Should handset be damaged, remove battery then contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use; may cause fire, electric shock or injury.



Handset

Take measures to prevent accidents.

- Do not use handset (including TV) while driving; park beforehand. Phone use while driving is prohibited by the Road Traffic Law (revised November 1, 2004).
- Do not use Headphones while driving or cycling. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially near road/rail crossings, etc. to avoid accidents.



Do not swing handset by Headphones or strap.

May result in injury or breakage.



Turn handset power off before boarding aircraft.

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.



Do not remove protective film.

Display is protected with safety film; removing/damaging film may cause injury in case of Display breakage.



Adjust vibration and ringtone settings:

Users with a heart condition/pacemaker/defibrillator should adjust handset settings accordingly.



During thunderstorms, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning strike or electric shock.



Do not subject handset to strong water jet or prolonged water immersion.

Handset is not resistant to water pressure. Do not subject it to jets of water or water immersion beyond the conditions specified in IPX5/IPX7. If handset becomes wet, wipe it with a dry cloth. Using wet handset may cause overheating, fire, electric shock or malfunction.



Charger

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- AC Charger: AC 100V-240V Input
 - SoftBank is not liable for problems resulting from charging battery abroad.



Do not use power adapters.

Using AC Charger with step-up/step-down transformer may cause fire, electric shock or damage.



Charger care

- Do not touch with wet hands. Electric shock may occur.
- Pull AC Charger straight out to unplug it; may cause malfunction or injury.
- Do not use multiple cords in one outlet; may cause excess heat/fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.



Do not short-circuit Charger terminals.

May cause overheating, fire or electric shock. Keep metal away from terminals.



Damaged AC Charger cord:

May cause fire or electric shock; discontinue use and purchase a new Charger.

**During thunderstorms:**

Unplug AC Charger to avoid damage, fire or electric shock.

**Charger/Desktop Holder use and children:**

May cause electric shock/injury; keep out of reach.

**Do not use Desktop Holder inside vehicles.**

Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

**Battery**

- If battery does not charge properly, stop trying. Battery may overheat, burst or ignite.
- At signs of a battery leak, avoid fire sources. It may catch fire or burst.



If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset.



It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.

Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near.

Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Observe these rules inside medical facilities:

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals, including lobbies.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Consult electronic medical equipment vendor on radio wave effects.**CAUTION****Handset, Battery & Charger****Handset care**

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from heat/direct sunlight (e.g., inside vehicles, etc.). Warping, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

**Usage environment**

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, telephone cards, etc. to avoid data loss.



Handset

Handset temperature

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.



Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).

Hot handset may lead to burn injuries.



Volume settings

Moderate handset volume; excessive volume may damage ears or hearing.



Headphones

- Do not force plugs or pull on cord; may damage plugs or cord.
- Keep plugs clean to avoid noise and malfunction.



Inside vehicles

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.



If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.



Charger

AC Charger cord

- Grasp plug (not cord) to disconnect AC Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.



Always charge handset in a well-ventilated area.

Avoid covering/wrapping Charger and Desktop Holder; may cause damage/fire.



During periods of disuse

Always unplug AC Charger after use.



Handset maintenance

Always disconnect AC Charger when cleaning handset.



Do not touch Desktop Holder while in use.

May cause burn injuries.



Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.



Do not leave battery in direct sunlight or inside a closed vehicle; may reduce battery performance or overheat. An overheated battery may cause fire.



Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.



If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.



Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.



Keep battery out of children's reach.



- Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call SoftBank Customer Center, Customer Assistance.
- Charge battery at least once every six months; an uncharged battery may become unusable.



General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or Memory Card data. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.

• Beware of eavesdropping.

Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.

Eavesdropping

Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

- An export license may be required to carry the handset into other countries if it is to be used by or transferred to another person. However, no such license is required when you take the handset abroad for personal use on a vacation or business trip and then bring it back.
- Export control regulations in the United States provide that an export license granted by the US government is required to carry the handset into Cuba, Iran, North Korea, Sudan or Syria.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).

Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5°C - 35°C (35% - 85% humidity).
- Avoid extreme temperatures and direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- **Function Usage Limits**
These functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation: Camera; Media Player; S! Applications; TV. After a period of disuse, these functions may be unusable; retrieve Network Information to restore usability.

- Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.
 - Do not sit on handset in back pants pocket.
 - Do not place heavy objects on handset inside handbags, packs, etc.
- Connect only specified products to Headphone Port. Other devices may malfunction or cause damage.
- Always turn off handset before removing battery.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Water Resistance

824SH Water Resistance

824SH complies with IPX5 and IPX7 (JIS IP Codes) water protection standards. (Tested by SoftBank.)

- Handset is water-proof with Port Covers and Battery Cover closed. Water may seep inside handset when there is debris between cover and base.
- Handset is resistant to fresh/tap water between 5°C - 35°C.
- Malfunction resulting from misuse is not covered by the warranty.

IPX5 & IPX7

- IPX5 compliant means that this handset continues to function as a phone after being subjected to a water jet (approximately 12.5 liters/min.) discharged from a nozzle (inner diameter: 6.3 mm), from all directions (approximately 3 m from handset) for 3 minutes or more.
- IPX7 compliant means that this handset continues to function as a phone and no water seeps inside after being gently lowered into a tank filled with still tap water (at room temperature) to the depth of 1 m, and immersed at the bottom for approximately 30 minutes.

Precautions

- Do not subject handset to soap, detergent, bath powder/oil, sea/pool/spa water, hot water, sand, dirt, etc.
- Do not open/close Port/Battery Cover with wet hands or while handset is wet.
- Do not soak handset in bath or pool; never use it in water (including opening/closing of handset and pressing keys).
- Avoid high-pressure water/shower (over 6 liters/min.).
- Do not expose handset to extreme humidity for long periods; avoid prolonged use in bathrooms.
- Avoid hot water, sauna, hot air (from dryers), etc.
- Avoid extreme temperatures.
- Battery, Desktop Holder and optional accessories are not water-proof.
- Do not poke Microphone, Earpiece, Speaker, etc. with a cotton swab or sharp object; water resistance may be affected.
- Do not move handset directly from a cold place to a warm humid place; condensation may occur. Should this happen, dry handset naturally at room temperature.
- 824SH does not float on water.

Cleaning Precautions

Washing Handset

Holding handset approximately 10 cm below faucet or shower head, wash with low-pressure tap water (6 liters/ min. or lower) between 5°C - 35°C. Wash with your hands, taking care not to open the covers; do not use a brush or sponge. Dry handset before use. Do not use a washing machine or ultrasonic cleaner.

Drying

- 1 Wipe handset with dry cloth**
- 2 Hold handset firmly and shake it approximately 20 times**



- Turn handset over and shake again until no more water drips.

- 3 Wipe grooves**
 - Remove moisture by gently pressing a dry cloth against handset.

- 4 Leave handset on dry cloth for approximately 30 minutes at room temperature**

Do Not Use Wet Handset

- Voice quality may be affected, or moisture may transfer to clothes, bag, etc.
- Water may short-circuit External Device Port.
- Water may freeze in cold places, resulting in malfunction.

Charging Precautions

- Never charge battery while handset is wet; may cause fire or damage due to electric shock or short-circuit.
- Close Port Cover firmly after charging via External Device Port. Use Desktop Holder to prevent water seepage via External Device Port.
- Do not touch Desktop Holder or Charger with wet hands. Electric shock may occur.
- Do not use Desktop Holder or Charger in water-oriented rooms (kitchen, bathroom, etc.); may cause fire or electric shock.

Gaskets

Gaskets (rubber seals) around Port Covers and Battery Cover are crucial for maintaining water resistance.

- Do not remove or damage gaskets.
- Take care not to pinch gasket when closing Port/Battery Cover; may damage gasket and affect water resistance.
- Do not insert sharp objects through Port/Battery Cover gaps; may damage gasket and affect water resistance.
- To maintain water resistance, replace gaskets every two years regardless of their condition.
- If Battery Cover is damaged, replace it with a new one. Use of damaged cover may cause electric shock, battery corrosion, etc. due to water seepage.

Electromagnetic Waves

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
824SH	APYHRO00071	0.485 W/kg	0.308 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <https://fjallfoss.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above). Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.phonefacts.net>.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*.

Highest SAR value:

Model	At the Ear**	On the Body
824SH	●● W/kg	●● W/kg

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network. The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Please see Electromagnetic Waves on the left for important notes regarding body-worn operation.

**Measured in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 824SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address: <http://www.sharp.co.jp/k-tai/>